



航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会

各ワーキンググループとりまとめ概要
(平成29年度)

整備士養成ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■整備士の英語能力向上

- ・これからの時代に適した最新の英語学習法を知り、実践することを目的として、「航空用英語学習講座」（1日コース）を昨年度から引き続き企画し開催。（計3回）
- ・多くの学生がいつでも気軽に航空英単語に触れられる環境を整える一環として、スマートフォン用Webページ「スマホで航空英単語」を整備し運用を開始※（平成29年10月～） ※アクセス数4.925件（平成30年2月15日現在）

■整備管理従事者の養成

- ・管理整備管理従事者の業務内容及び従事する上で必要となる知識等について、「航空法の基礎」及び「整備管理の基本知識」のテキストを使用した講習会「整備管理従事者講習会【入門編】」を引き続き開催。（開催回数を拡充し、計2回開催）
- ・今年度の新たな取り組みとして、従来からの航空機整備・技術基礎コースの内容を大幅に見直し、整備管理従事者講習会【専門編】と位置づけた「航空機耐空性管理コース（法と運用、MRB、MEL）」を新たに設定し開催。（計3回開催）

■整備士の技量・技能の維持・伝承

- ・各社の知見や具体的に行っている事柄を共有する場として、平成29年12月1日に第3回発表会を開催
NCA,JAC,SKYからの発表の後、パネルディスカッションを開催した。

■中長期的な整備士の養成のあり方に関する検討

- ・教官の確保や技能審査員のシェアについては引き続き養成機関の集まりの中で検討を継続しており、各校の教育の実施状況や方法について情報を共有する等した。

今後の検討課題・取組み等

■整備管理従事者の養成

- ・「整備管理従事者講習会【入門編】・【専門編】」を引き続き開催。

■整備士の技量・技能の維持・伝承

- ・整備士の技量・技能の維持・伝承発表会を今後も実施し、発表会で共有される知見や手法等を蓄積するとともに整備士の技量・技能の維持伝承に関するPDCAサイクルの実践への取組について検討する。

■中長期的な整備士の資格制度のあり方・養成のあり方

- ・中長期的な養成・確保について各機関での取組状況を共有するとともに必要に応じてWGにおいて議論を行うこととする。

製造技術者ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

1. 技能認定制度の検討

昨年度同様、国内大手製造各社等、業界関係者を集めた「技能認定制度検討分科会」を開催し、機体需要等の最新の業界動向について、情報共有を図り、来年度以降の検討方針やスケジュールについて確認を行った。

2. 生産管理・品質保証等の人材育成に関する検討

昨年度とりまとめた、サプライヤーが国内大手発注企業（川下企業）と取引を行う上で求められる生産管理・品質保証について解説したガイドブック及びチェックリスト（生産管理・品質保証ガイドブック）の広報・普及を行った。

3. 非破壊検査員の育成に関する検討

「非破壊試験技術者育成にかかる検討分科会」にて、訓練機関に必要な設備・試験体の導入や訓練シラバス・テキスト作成といった、講座の開講に向けた諸課題や、講座受講後のOJTについての課題の解決に向けた検討を行った。磁気探傷検査及び浸透探傷検査の講座を開講した。

今後の検討課題・取組み等

■ 技能認定制度の検討

今後も機体需要等の業界動向を踏まえつつ、まずは民間検定試験を実施するための体制整備について、「技能認定制度検討分科会」にて検討する。

■ 生産管理・品質保証等の人材育成

今後は、平成28年度に作成した「生産管理・品質保証ガイドブック」の広報・普及に努めるとともに、既存の講座の教材の一部として活用してもらい、サプライチェーン全体での生産管理や品質保証等の体制強化やサプライヤーの能力向上に役立ててもらう。

■ 非破壊検査員の育成

来年度中の資格試験の実施及び適格性評価証の発行を目指し、平成29年度に設立した「日本航空宇宙非破壊試験委員会」にて、資格試験機関の体制整備及び各種規定類の作成を進める。また、自立化に向けての運営体制整備、収支計画を検討する。

裾野拡大ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■ 個別の取組のネットワーク化等による航空業界全体の取組の推進

- ・ヘリコプター操縦士に関する職種紹介等の情報を新たにSKYWORKSに追加。(H29.8)

■ 女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者の増加に向けた取組

- ・現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会を開催。(H29.12)

■ その他

- ・経済産業省（中部経済産業局）において（独）国立高等専門学校機構等と連携し、学生を対象に航空宇宙先端技術分野に係る特別講義を実施。
- ・子ども霞が関見学デーへの協力
- ・各航空会社における取り組み（航空教室の実施、工場見学等）

今後の検討課題・取組み等

- 「子ども霞が関見学デー」や「航空教室」等、これまで実施してきた各種裾野拡大の取り組みは、可能な限り次年度においても継続して計画・実行する。
- 更なる裾野拡大への取組について、検討を行う。